

第8次瓦木地区福祉計画

西宮市社会福祉協議会瓦木分区

西宮市は全国一住みやすい町として人気があります。中でも西宮北口地区がその筆頭に上がっています。そうした意味からも、福祉社会を通して町づくりの一端を担う瓦木分区の活動が注目されます。

地域の状況は人口増に伴い、高齢化率は西宮市平均をやや下回るものの、住民の生活スタイルの多様化、価値観の変化、住民同士のつながりの希薄化など、地域福祉活動を進めていく上で、決して明るい見通しばかりではありません。そこで地域内のさまざまな組織団体への働きかけ、ともに支える態勢を整えながら、共通理解を図っていく必要があります。

市社協の第8次地域福祉推進計画を基盤に瓦木分区としてとりめくること、今までの積み上げが無駄にならないような福祉計画を策定しました。限られた構成人員でこれらの活動を支えていくには負担も大きいと思いますが、6か年という長期にわたるものですから、軌道修正をしながら遂行していきます。

【福祉目標】 共生の町づくりをめざして

【重点活動】 ★小地域にねざしたふれあいの場づくり

- ・長寿を祝うつどい
- ・いきいきサロン
- ・より小地域でのつどう場づくり

★町内会・自治会との連携

- ・会員会費制の普及
- ・町内会・自治会活動への賛助
- ・広報活動の充実

★ボランティアセンターの充実

コーディネーターを軸にした地域住民のニーズの把握と対処

★見守り活動の推進

ネットワーク会議の確立と具体的取組みの発信

★災害時の対応

定期的な訓練と体制づくり

【定着している諸活動】

- ★ふれあい給食会
- ★三世代交流グラウンドゴルフ大会
- ★三世代交流アジャタ大会
- ★高齢者と児童とのふれあいクリスマス会
- ★子育て支援活動
- ★青葉園生との交流

【その他の活動】

- ★健康講座
- ★高齢者向け健康体操
- ★地域フォーラム
- ★会員会費制のつどい
- ★募金活動への協力

【広報活動】

- ★支部広報紙「やすらぎ」、分区広報誌「社協瓦木」発行
- ★各種イベント、社協活動に関する啓発チラシ作成・配布

【組織運営】

- ★総会（年1回）
- ★理事会（年12回）
- ★活動推進委員会（年12回）
- ★評議委員会（年4回）
- ★食事サービス、友愛援助、広報学習、子育て支援、登録ボランティア研修（随時）
- ★ボランティアコーディネーター打ち合わせ（年12回）
- ★評議員研修（年1～2回）

【地域内諸団体との連携や人材確保、社協活動への理解】

- ★民生児童委員会との情報交換
- ★現存する施設の有効活用
- ★リーダーの養成と人材確保
- ★コミュニティ、公民館、県民交流広場との連携
- ★取扱い事務の簡素化
- ★各種行事実施の役割分担